

# 「西日本横断サイバーセキュリティグランプリ」を開催

～1日でサイバーセキュリティがまるわかり！～

北陸総合通信局は、西日本の総合通信局4局（近畿、中国、四国及び九州）と合同で、令和5年6月10日（土）に「西日本横断サイバーセキュリティグランプリ」を開催しました。

大阪会場をメインに、石川・広島・徳島・熊本の各会場をオンラインでつなぎ、①ITエンジニアによる講演、②クイズ、③CTF、④企業等のセキュリティ取組み紹介（Lightning Talks）を組み合わせたイベントに、石川会場「ITビジネスプラザ武蔵」（金沢市）からは、高校生、大学生、若手社会人の16名が参加しました。

第1部講演では、コロナ禍に在宅勤務などで安全な通信ができる「シン・テレワークシステム」の開発を主導した登大遊氏が、「コンピュータ技術とサイバーセキュリティにおける日本の課題、人材育成法および将来展望」と題してオンラインで講演を行い、「日本のICTの課題は、技術を自ら生み出せる人材がいないことであり、これは大学等の既存組織の中で、自律的なネットワーク環境を構築して試行錯誤することで克服できる」旨が述べられました。

続いて、セキュリティに関する二択クイズをパソコンやスマートフォンからオンラインツールを通じて回答し、セキュリティについて学びました。

石川会場:ITビジネスプラザ武蔵



シン・テレワークの開発者 登大遊氏の講演に聞き入る参加者

## 二択クイズ問題例

本物のドメインはどっち？

1. google.com
2. googIe.com

## CTF問題例

暗号解読  
120

みかか → NTT  
ちなかく → ????

Flag  Submit



〈CTFの様子〉

## CTFとは

「Capture The Flag」の略で旗取りゲームのこと。専門知識や技術を使って、隠された答えを見つけ出し、獲得した合計点数を競い合います。

第2部講演では、大阪会場から、「セキュリティ人材とキャリア」をテーマに各企業の講演が行われました。「海外で活躍するセキュリティエンジニア」のテーマでは、昨年、米国カーネギーメロン大学院でセキュリティ修士を取得したNTT西日本の四方直樹氏より、米国の大学の授業は、机上の理論よりも実践的なカリキュラムが重視されていることを紹介。海外で活躍する日本の若きエンジニアらとシリコンバレーからオンラインでつなぎ、「大学での実践的なカリキュラムが現在のキャリアに結びついている」といった体験談が語られ、参加者の今後のキャリア形成を考える良い契機となりました。

続いて、CTFでは、参加者はチームに分かれてサイバーセキュリティに関する設問をゲーム感覚で解いていきました。

最後に各会場から地元企業等によるセキュリティへの取組みが紹介されました。

本イベントはオンライン参加も含め、計570人の若者が参加しており、今後、将来のサイバーセキュリティ人材としての彼らの活躍が期待されます。 お問い合わせ先 サイバーセキュリティ室 076-233-4430